



日本経団連自然保護協議会/世界銀行情報センター(PIC東京)共催シリーズ 第4回

# 日本ガラパゴスの会

日本経団連自然保護協議会・基金が支援する自然保護団体の活動を通じ、地球環境問題を学びます

特定非営利活動法人日本ガラパゴスの会(JAGA)は、世界自然遺産第1号のガラパゴス諸島の自然保護を目的とした団体です。「進化の実験室」とも謳われたガラパゴスの希有な自然は、人間の侵入によって、それまで保ってきた生態系のバランスを崩し、今守らなければ、永遠にその価値を失ってしまう危機にあるのです。

## パネル展『ガラパゴスの自然は護れるか』

日時:2007年1月22日(月)~2月2日(金)

ガラパゴスの地理・気候などの基礎情報とともに、ゾウガメやイグアナなど、ガラパゴスにしかない生き物たちをご紹介します。また、経団連自然保護基金の支援によって行われた保護活動とその成果や、外来種侵入の状況と駆除活動の様子などを展示し、現在のガラパゴスを取り巻く様々な側面をご紹介します。



## コーヒーアワー『ガラパゴスの自然は護れるか』

日時:2007年1月31日(木) 午後6時30分~8時

エクアドル本土から西にほぼ1000kmにあるガラパゴス諸島は、特異な動植物の姿から、19世紀前半にここを訪れたチャールス・ダーウィンに、生物進化論を抱きかけを与えたといわれています。その生物は南米大陸の動植物たちとおおすじでは似ていながら、決して同じ種類ではなく、島ごとにも違って、それぞれの島の独自の生物相を形作っていました。つまり初めにやって来た生物の子孫が、島の環境や食物などに合わせて姿を変えた(進化した)と彼は考えたのです。それから170年、この島の自然はすっかり変わりました。人や外来の生物も増えて、ダーウィンを驚かせた固有の生物は激減しました。この自然を護って将来につなげられるでしょうか。

<お話> 小野幹雄さん(日本ガラパゴスの会理事長、東京都立大学名誉教授、  
日本自然保護協会評議員)

## 場所 PIC 東京(世界銀行情報センター)

東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 1階

開館時間 午前10時~午後6時 <http://www.worldbank.org/japan/jp>

都営地下鉄三田線 内幸町駅、営団地下鉄日比谷線・千代田線・丸の内線 霞ヶ関駅

問合せ先 PIC 東京(世界銀行情報センター) E-mail: [ptokyo@worldbank.org](mailto:ptokyo@worldbank.org) Tel:03-3597-6650

申込方法 コーヒーアワー(1月31日)は要事前申込み。別紙のファックス用紙もしくは電子メール(上記アドレス)にて、ご氏名、ご所属、及びご連絡先を明記の上お申し込み下さい。参加費は無料。使用言語は日本語(通訳なし)。 \* パネル展はご自由にご覧ください。

コーヒーアワー「ガラパゴスの自然は護れるか」  
2007年1月31日(水)午後6時30分～8時

宛先 世界銀行東京事務所  
FAX 03-3597-6695

日本経団連自然保護協議会 世界銀行情報センター(PIC 東京)共催シリーズ

---

ご所属・団体

---

お役職・肩書き

---

お名前

---

ご連絡先

(ご住所)

(電話)

(FAX)

(Email)

---

**日本経団連自然保護協議会について** <http://www.keidanren.or.jp/kncf/>

日本経団連は1992年に日本経団連自然保護基金運営協議会を設立。以来、企業の自然保護活動の普及・促進や企業とNGOの交流の場づくりに力を注いでいる。協議会では毎年、企業から寄付を募り、これまでにアジア・太平洋地域及び国内を主に延べ676のプロジェクトに総額19億8千万円余の支援を行ってきた。

**KNCF・PIC 東京共催シリーズの日程 (会場はPIC 東京)**

- 第1回 2006年10月16日(月)～27日(金) 北の海の動物センター
- 第2回 2006年11月20日(月)～12月1日(金) 緑の地球ネットワーク
- 第3回 2006年12月18日(月)～26日(水) ニホンヤマネ保護研究グループ
- 第4回 2007年1月22日(月)～2月2日(金) 日本ガラパゴスの会
- 第5回 2007年2月19日(月)～3月2日(金) メダカのがっこう
- 第6回 2007年3月19日(月)～3月30日(金) ラムサールセンター